

資格検定 NEWS

結果よりも過程

資格検定受験の指導や支援をしていると、まず「検定に合格する」こと、「資格を取得すること」に目が向きます。そもそも資格取得は。自分の技量・技能の証明となる後盾を得ること、第三者の証明を得ることが第一の目的であり、「ある」か「ない」かの2者択一の世界ですからデジタルの世界であり、合格しなければ、アナログの連続世界ではないので、「もう少し」も「全くだめ」も「ゼロ」としての扱いです。

ですが、人間の「学び」は「昨日と違った自分の発見の喜び」であり、「納得できた喜び」であり、自分が中心にある活動です。高校は定期考査を始めとした種々のテストがあり、得点が示され、家庭に通知されますが、仮設を立てたり、試行錯誤したり、失敗したり、無駄骨に感じる事ばかりだったりすることでも、その過

程を楽しむ、あるいは受け入れることができるかどうかで、一日一日が充実していたと思えるかどうかは大きく変わります。

スポーツにおいても、「勝つ」か「負けるか」でしか測れないのか、「勝つことは大切だが、負けても楽しかった」のか、「楽しむことが一番で勝敗は二の次」なのか、いろいろな捉え方があります。

「結果よりも過程」ということを容認できるか、「結果を伴わなければ価値はなし」なのか、選択肢は一つではない気がします。

